

創世記 2:7 について

▶新共同訳

主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

→生きる者⇒NKJV：生きる魂：ネフェシュ Nephesh（魂）・ハイヤー（ヘブライ語）

▶口語訳

主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

▶文語訳聖書

エホバ神（かみ）土の塵（ちり）を以つて人を造つくり生氣（いのちのいき）を其の鼻に嘘入（ふきいれ）たまへり人即（すなは）ち生靈（いけるもの）となりぬ。

▶新改訳

神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。

▶NKJV (New King James Version)

And the Lord God formed man of the dust of the ground, and breathed into his nostrils the breath of life; and man became a living being.

生きる者

▶NIV (New International Version)

Then the Lord God formed a man from the dust of the ground and breathed into his nostrils the breath of life, and the man became a living being.

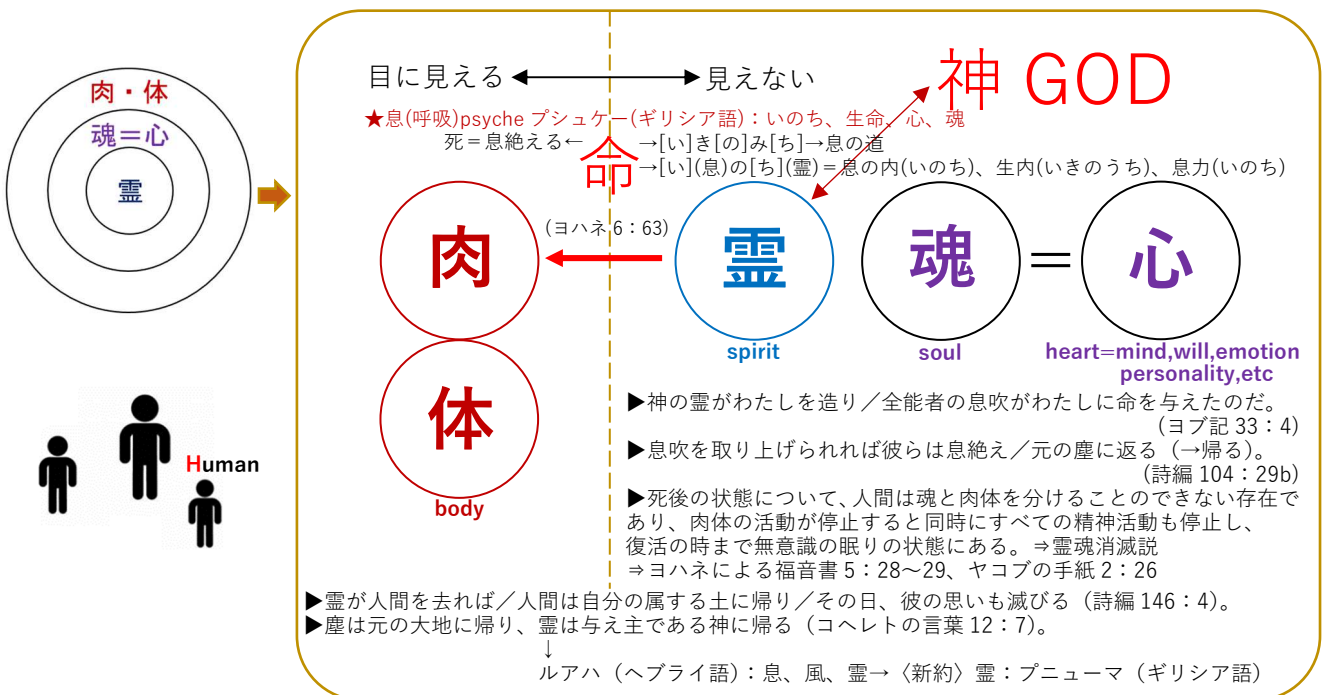
▶KJV (King James Version)

And the LORD God formed man of the dust of the ground, and breathed into his nostrils the breath of life; and man became a living soul.

生きる魂 →魂（ネフェシュ）⇒プシュケー＝命、息

→「魂」が、肉体を離れて存在することができる意識のある存在であるとする主張（靈魂不滅）は、聖書の教えからみても、誤りであることが分かります。

→死ぬと、人間に与えられた命の息は、神に帰る（コヘレトの言葉 12：7）。



【参考】霊的

① ヒトの内面を指す。→人間は霊的存在である。

→人はパンだけで生きる（→息[生命活動の根幹]をする→【いき】をす【る】→生きる）ものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる（マタイによる福音書 4：4→申命記 8：3）。

② 聖霊の働きを指す。→霊的賜物：聖霊がくださる賜物＝御霊（みたま）の賜物

【参考】条件付き靈魂不滅

キリスト者(イエス・キリストの贖いによって救われた者)の死→一時の眠りにつく→再臨時に、名前が呼ばれ、復活→永遠の命

キリスト者以外^の死→魂は地獄→千年期後、宇宙（地獄）から完全消滅

→詩編 146：4

霊が人間を去れば／人間は自分の属する土に帰り／その日、彼の思いも滅びる。

→マタイによる福音書 10：28

体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。

【参考】肉(体)、霊、魂、心 等

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 民数記	27:16 「主よ、すべての肉なるものに霊を与えられる神よ、どうかこの共同体を指揮する人を任命し、	
K エゼキエル書	11:19 わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える。	
K エゼキエル書	36:26 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。	
S ヨハネによる福音書	6:63 命を与えるのは“霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。	
S コリント信徒への手紙 I	15:46 最初に霊の体があったわけではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。	
S ガラテヤの信徒への手紙	5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。	
S エフェソの信徒への手紙	4:4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。	
S テサロニケの信徒への手紙 I	5:23 どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。 (聖書協会共同訳) また、あなたがたの霊と心と体 (spirit, soul and body) とを完全に守り、	
S ヤコブの手紙	2:26 魂のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。	
S ベトロの手紙 I	3:18 キリストも、罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。	

【参考】塵

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250 (塵)12個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 塵]
K 創世記	2:7 主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。	
K 創世記	3:19 お前は顔に汗を流してパンを得る／土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。」	
K ヨブ記	7:21 なぜ、わたしの罪を赦さず／悪を取り除いてくださらないのですか。今や、わたしは横たわって塵に返る。あなたが捜し求めても／わたしはもういないでしょう。	
K ヨブ記	10:9 心に留めてください／土くれとしてわたしを造り／塵に戻されるのだということを。	
K ヨブ記	34:15 生きとし生けるものは直ちに息絶え／人間も塵に返るだろう。	
K 詩編	90:3 あなたは人を塵に返し／「人の子よ、帰れ」と仰せになります。	
K 詩編	104:29 御顔を隠されれば彼らは恐れ／息吹を取り上げられれば彼らは息絶え／元の塵に返る。	
K コレハトの言葉	3:20 すべてはひとつのところにいく。すべては塵から成った。すべては塵に返る。	
K コレハトの言葉	12:7 塵は元の大地に帰り、霊は与え主である神に帰る。	
K ダニエル書	12:2 多くの者が地の塵の中の眠りから目覚める。ある者は永遠の生命に入り／ある者は永久に続く恥と憎悪の的となる。	